

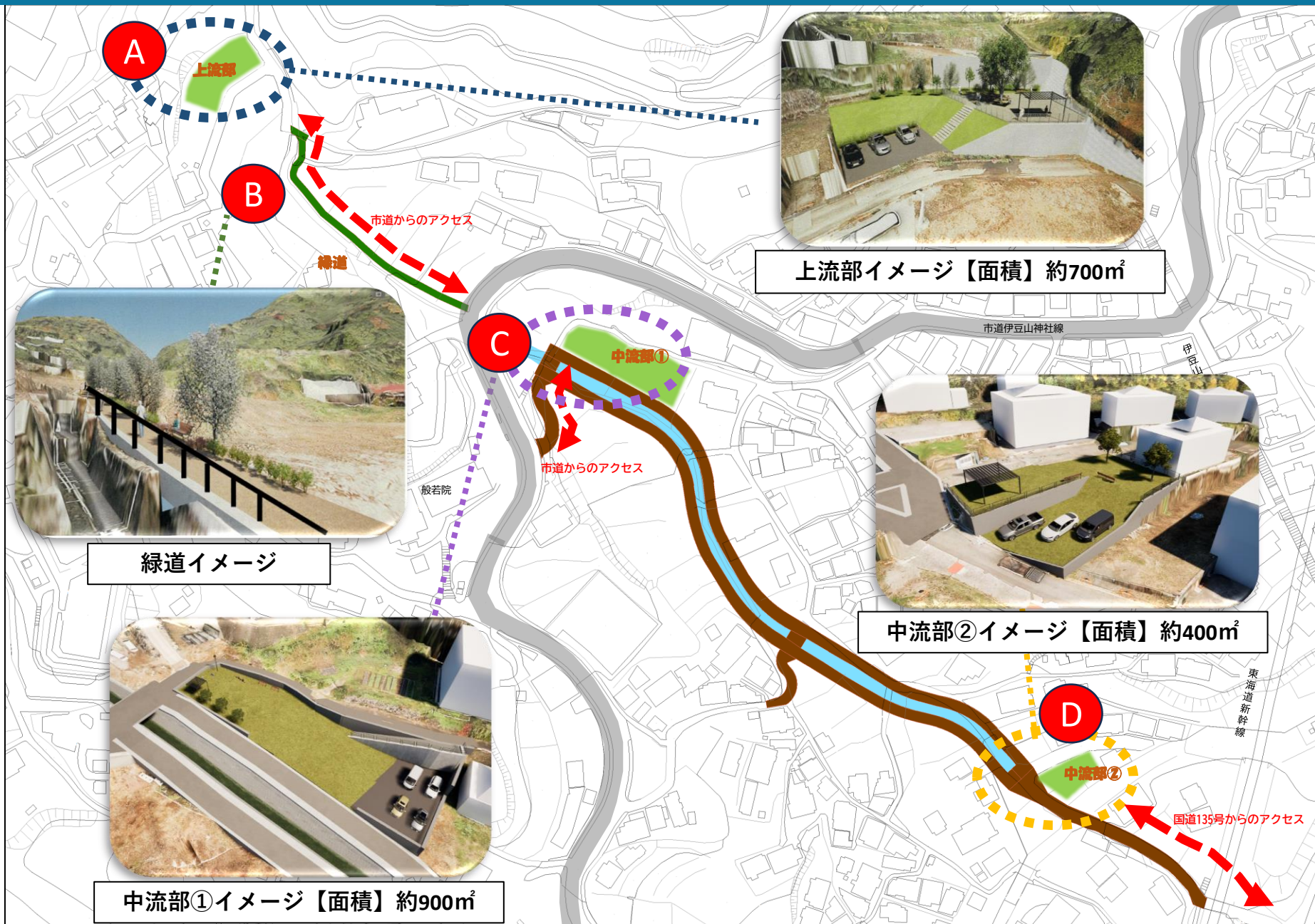
第 6 回 熱海市伊豆山復興まちづくり推進懇話会

【第 5 回懇話会での意見とその対応について】

令和 8 年 2 月 1 0 日

- ① 「公園設置の必要性について」
- ② 「公園予定地の公園以外の
活用方法について」
- ③ 「公園予定地の具体的な面積」
- ⑤ 「緑道は維持管理を踏まえて植栽し、
川沿いに柵を設置してほしい」

公園及び緑道イメージ図



※写真は現時点のイメージです。今後変更となります。

公園緑地 今までの取り組み（主な意見）

●伊豆山復興まちづくりワークショップ

第1回 令和4年5月29日 第2回 令和4年6月26日 第3回 令和4年7月31日 第4回 令和4年8月28日 第5回 令和4年9月25日

○ちよこつと公園・ベンチを坂の各所に設けることで日常の便利さ・交流に繋げる。

●伊豆山復興まちづくりワークショップ -公園緑地編-

第1回 令和5年6月25日 第2回 令和5年7月23日 第3回 令和5年8月26日

○移動販売車のスペース重要。 ○休けいスペース、ベンチはありがたい(祭り)。 ○植木が欲しい(避暑地を確保するため)。 ○大きな子と小さな子が安全に遊べる。

●令和5年度地区別・町内会別説明会

A地区 令和5年12月14日 B地区 令和5年12月5日 C地区 令和5年11月28日 D地区 令和5年11月17日 E地区 令和5年11月7日 F地区 令和5年10月31日
G地区 令和5年10月17日 浜町内会 令和6年1月10日 岸谷町内会 令和6年1月16日 仲道町内会 令和6年1月23日

○公園緑地整備については、これまで伊豆山地区にそのような施設がなかったため、良いことだと思う。
○上流の公園緑地に駐車場が欲しい。

●令和6年度地区別・町内会別説明会

A地区 令和6年10月22日 B地区 令和6年10月8日 C地区 令和6年10月1日 D地区 令和6年8月27日 E地区 令和6年8月20日
FG地区 令和6年9月10日 G地区 令和5年10月17日 浜町内会 令和6年11月8日 岸谷町内会 令和6年11月15日 仲道町内会 令和6年11月12日

○盆踊りやグランドゴルフなどに使える多目的な広場が良いと思う。
○管理できずに、雑草が生い茂る状況であれば、新しく作る意味がないと思います。

●令和7年度地区別意見交換会

A・B地区 令和7年6月19日昼・夜 C・D・E地区 令和7年6月26日昼・夜 岸谷・仲道町内会 令和7年6月20日夜 浜・FG地区 令和7年6月27日夜

○メンテナンスを通じて地元住民の雇用を創出することはできないか。
○本当に必要か。川の横に公園があるのは危険ではないか。

●令和7年度地区別・町内会別説明会

A・B地区 令和7年10月21日 C・D・E地区 令和7年11月7日 浜・FG地区 令和7年10月17日 岸谷町内会 令和7年10月31日 仲道地区 令和7年10月30日

○被災直後と現在とでは、地域住民の状況が変化し、最近になってようやく公園利用についての認識・意見を持つことができるようになったと思われる。公園についてのワークショップを再度開催してもいいのではないか。
○公園事業よりもインフラ復旧を優先してほしい。

- ⑥ 「岸谷本線の暗渠工事の進捗について」
- ⑦ 「暗渠工事中の通行止めにより、地域住民が狭隘区間を通らなければならなくなるため対応してほしい」

暗渠区間周辺の現況

新幹線交差部上流 E 周辺※



新幹線交差部上流 F 周辺※

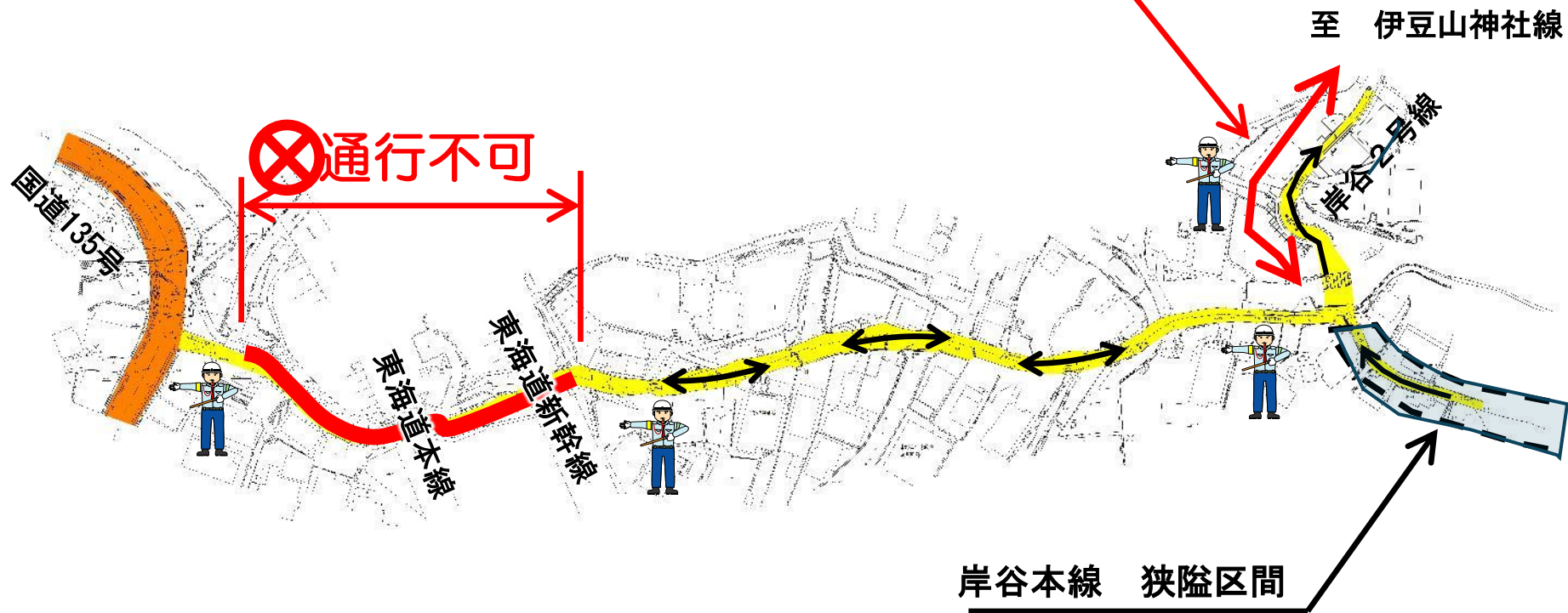


※ P 1 4 に周辺地図記載。

左右写真：工事着手前（～R 7 / 3）、右写真：R 8.1.2 6 撮影

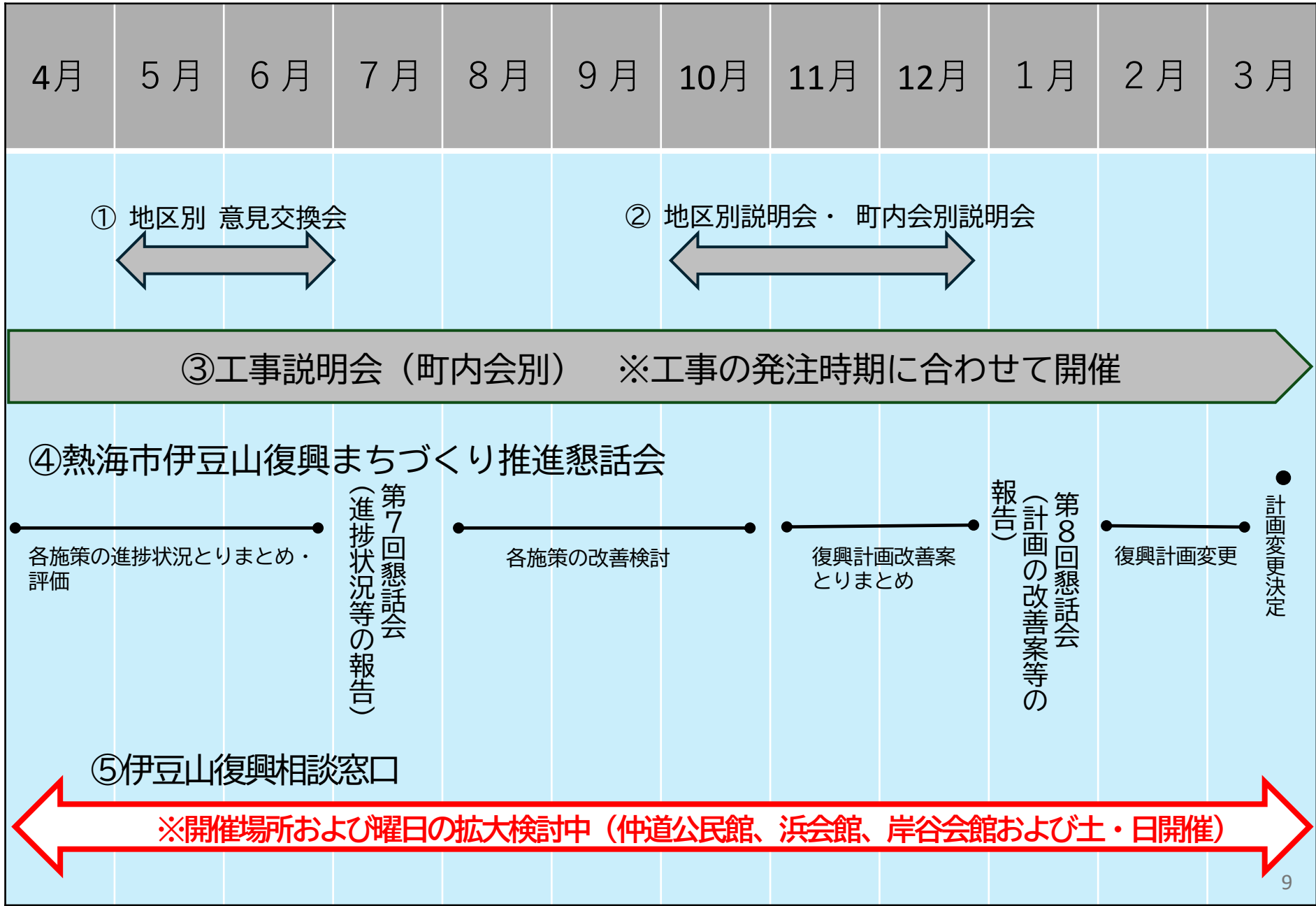
暗渠区間工事中の通行規制図

日中（8時～20時）は、対面通行可とする。



**⑪ 「いずさんっち（旧農協）」以外の
伊豆山復興相談窓口の設置場所拡充
（例：仲道公民館、浜会館、岸谷会館）**

令和8年度 伊豆山復興に関する説明会・意見交換会（案）



伊豆山復興相談窓口 実績等

- 「いずさんっち」 2階のスペースを活用し、被災者や住民の方々が、伊豆山の復興に関して気軽に相談できるよう「伊豆山復興相談窓口」を開催しております。
- 復興調整室と被災者支援室の職員（各室1、2名）が毎月第4木曜日に「いずさんっち」に出向き個別の相談に応じるものです。

<主な意見>

- ・ 市道岸谷3号線の拡幅工事進捗について
- ・ 公園について子供や若年層の意見も参考にして整備してほしい
- ・ 復旧工事の長期化に伴う生活環境の悪化に対するストレス 等

<ご利用人数>

R 7 / 4～6月	7～9月	10～ 12月	R 8 / 1月
6人	2人	3人	1人

<今後の開設について>

※R7年度：2月26（木）、3月26（木）
→上記に加え、1月から日曜日についても、試験的に開設しています。

個別相談イメージ



【相談窓口入口・場所(いずさんっち裏)】



**②④ 「市役所で検討している
慰霊碑の建立について」**

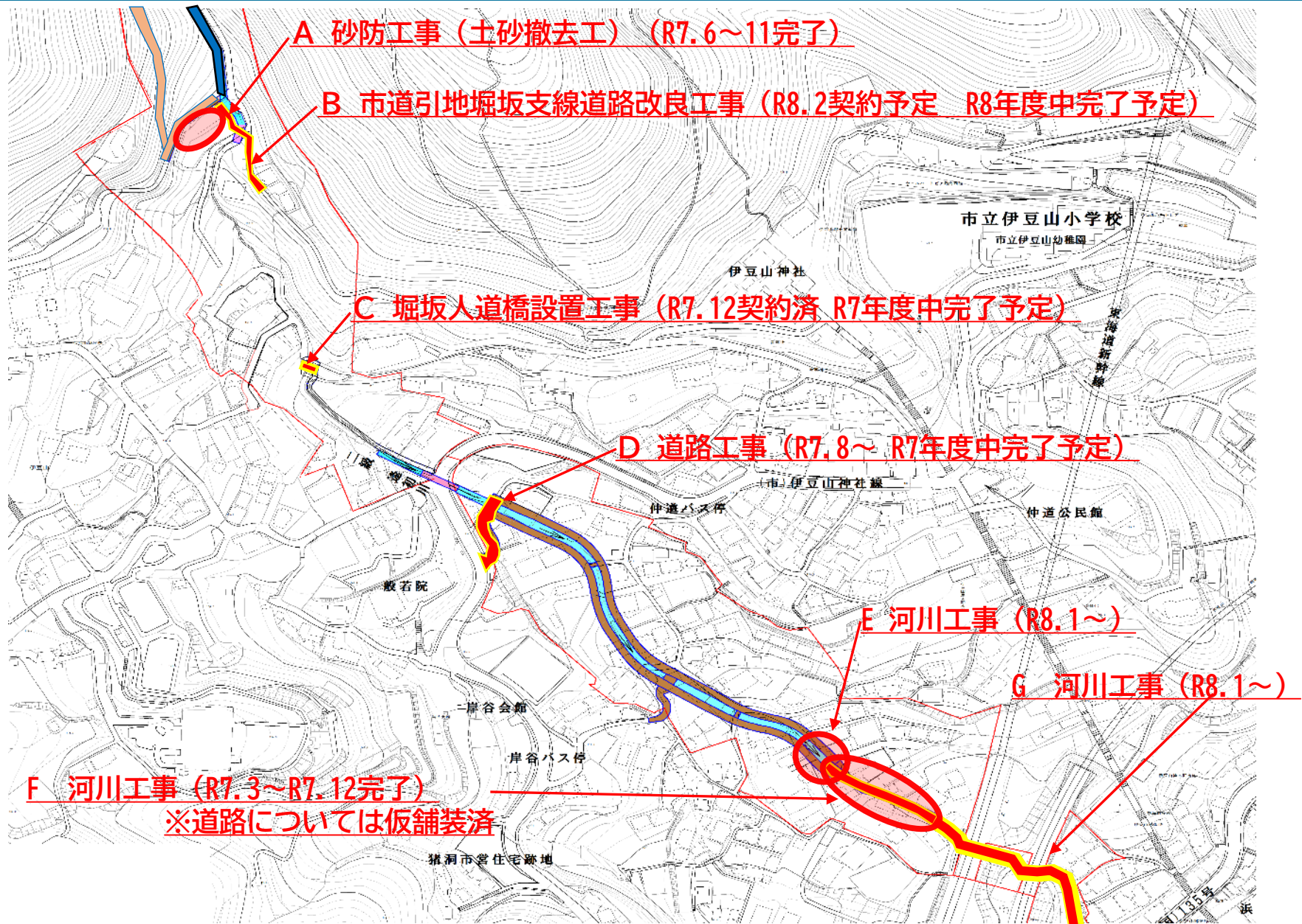
慰霊碑建立「検討の場」の進め方（案）

- 対象者：土石流災害により近親者等をなくされたご遺族
- 開催日程：令和7年度は、2月・3月の日曜日開催予定

令和 7 年度				令和 8 年度											
12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<p>●ご遺族の意向確認</p> <p>検討の場①</p> <p>条件や参考例を例示 （設置場所、形状、 材質等）</p>				<p>検討の場②</p> <p>各事案の発表・話し合い （3案程度絞り、遺族へ 審査依頼※郵送など）</p>				<p>検討の場③</p> <p>審査内容の 参加者への 報告</p>							

復旧・復興の進捗状況等について

河川・道路事業【令和7年度工事箇所】



上流部現況 A・B周辺



左上写真：R 7.5.30、右上写真：R 8. 1. 28 両下写真：R 8. 1. 26撮影

上流部現況 C周辺

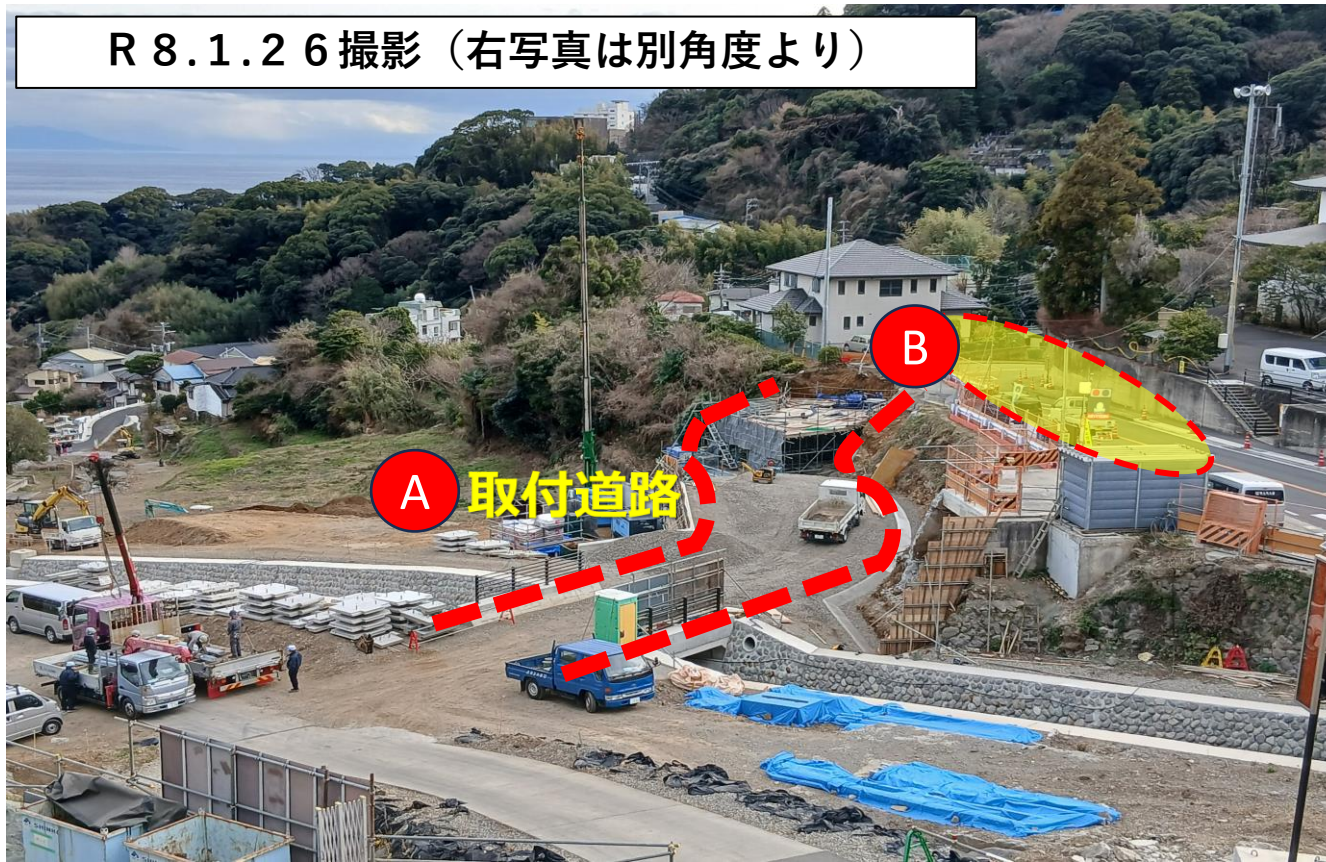


中流部現況 D周辺



中流部現況 D周辺 - 取付道路 -

R 8.1.2 6 撮影（右写真は別角度より）



伊豆山神社線工事に伴う安全性確保のため、走行車両を認識できるロボットカメラを搭載した電光信号機・電光警備員の設置を行いました。



(仮称) 伊豆山地区コミュニティ防災センター 現況

構造・階数

面積

S造・1階建

建築面積：316.00㎡

延べ面積：304.00㎡

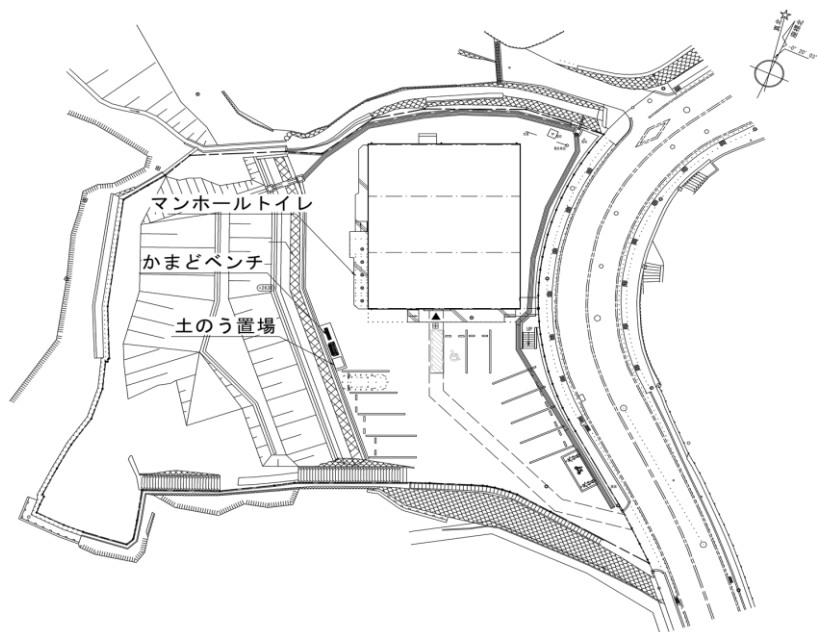
- スケジュール
- 6月 契約
- 7月 工事着手
- (令和8年)
- 3月 完成
- 4月 供用開始

- 主な仕様
- ・ミーティングスペース
- ・会議室
- ・防災倉庫
- その他：マンホールトイレ
- 外部電源接続盤
- (UXコネクタ)



R 8.1.26 撮影

完成イメージ図



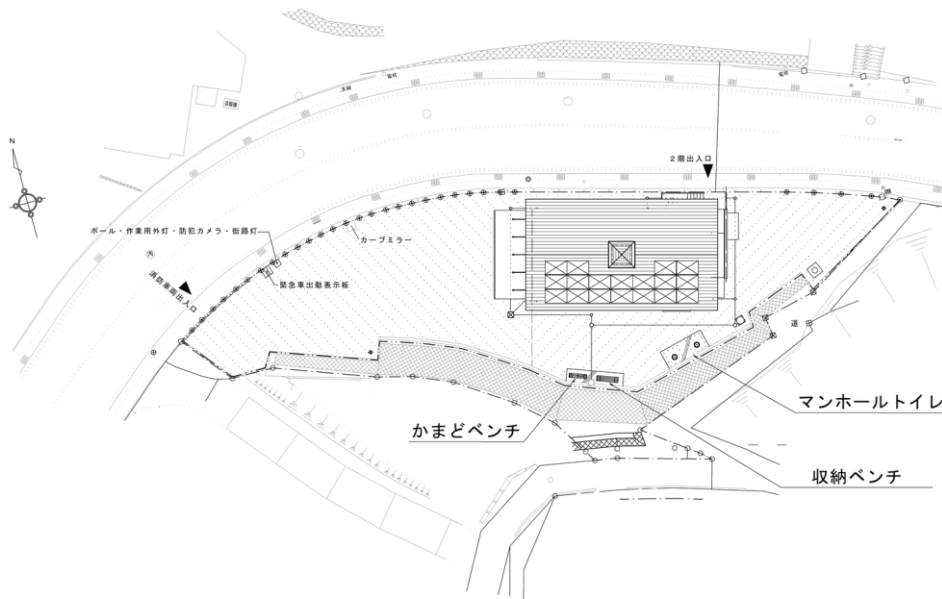
消防団第4分団詰所 現況

構造・階数	面 積
S造・2階建	建築面積：128.22㎡
	延べ面積：201.37㎡

<p>○ スケジュール</p> <p>6月 契約</p> <p>7月 工事着手</p> <p>(令和8年)</p> <p>3月末 完成</p> <p>4月 供用開始</p>	<p>○ 主な仕様</p> <p>1階：消防ポンプ自動車庫、 情報収集室、 準備室、資機材庫</p> <p>2階：研修室(和室・洋室)</p> <p>その他：モーターサイレン(非常用警報設備) 外部電源接続盤(UXコネクタ) LPG発電機 (ガス発電機) など</p>
--	--



R 8.2.3 撮影



完成イメージ図

中流部 -岸谷2号線付近-



ドローンにてR6 / 1月撮影

岸谷2号線 現況



岸谷3号線 現況



左写真：R 6.6.1 4、右写真：R 7.1 2.1 6 撮影

暗渠区間周辺の現況 E・F周辺

新幹線交差部上流E周辺

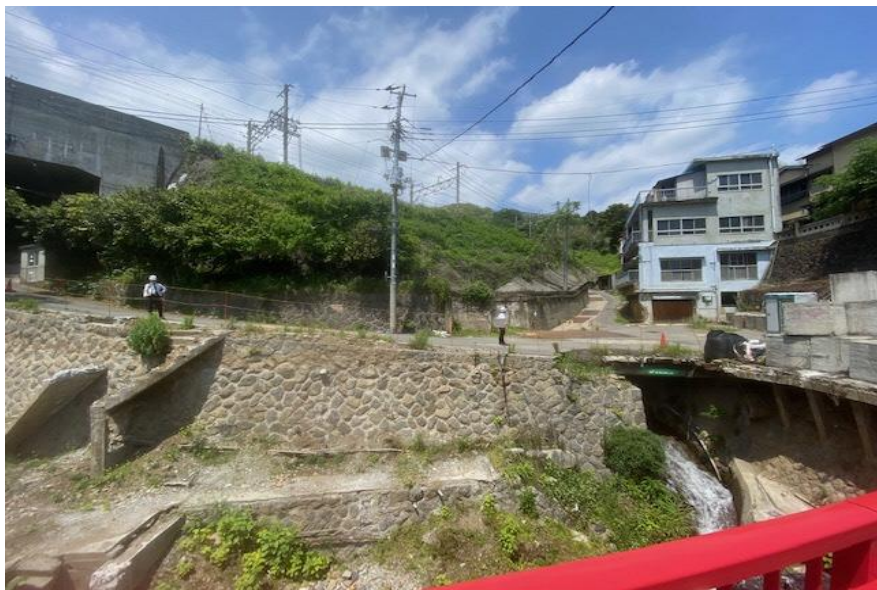


新幹線交差部上流F周辺



左右写真：工事着手前（～R 7 / 3）、右写真：R 8.1.2 6 撮影

J Rガード付近現況 G周辺

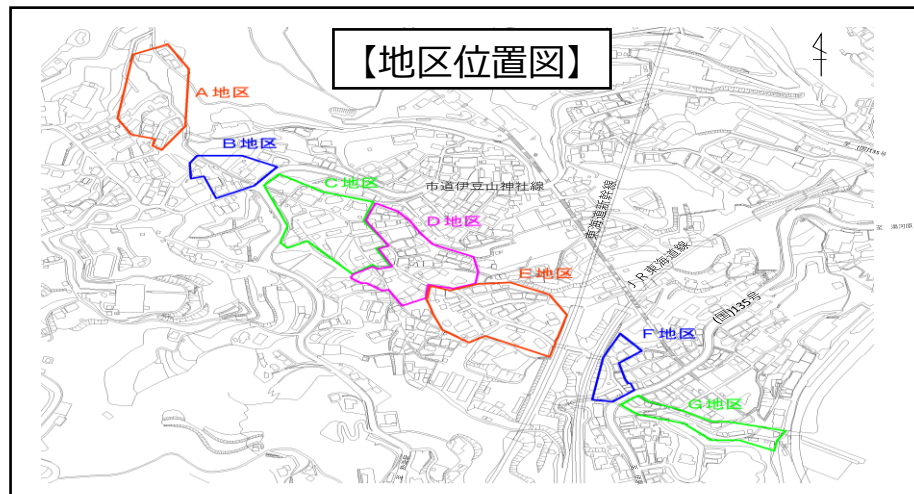


令和7年度 逢初川流域復旧・復興事業にかかる地区別・町内会別説明会【開催概要】

- 逢初川土石流災害における復興事業に関して、被災者の方々の意見を伺いながら事業を進めていくため、被災地区7地区と岸谷・仲道・浜町内会を対象に、「逢初川流域復旧・復興事業にかかる地区別・町内会別説明会」を開催しました。
- 熱海市と静岡県熱海土木事務所で共同開催しているもので、各事業の状況やスケジュールを説明し、その後、車座座談会として意見交換を行っています。

【開催概要】

- 次第
 - ・河川・道路事業について ・公園緑地事業について
 - ・その他事業について ・車座座談会（意見交換会）
- 浜町内会・FG地区
日 時：令和7年10月17日(金)19:00～20:30
場 所：浜会館 出席者：4名（4世帯）
- AB地区
日 時：令和7年10月21日(火)19:00～20:30
場 所：熱海市役所第1庁舎4階 第1・2会議室
出席者：7名（6世帯）
- 仲道町内会
日 時：令和7年10月30日(木)19:00～20:30
場 所：仲道公民館 出席者：10名（10世帯）
- 岸谷町内会
日 時：令和7年10月31日(金)19:00～20:30
場 所：岸谷会館 出席者：14名（13世帯）
- CDE地区
日 時：令和7年11月 7日(金)19:00～20:30
場 所：熱海市役所第1庁舎4階 第1・2会議室
出席者：10名（8世帯）



【開催状況】



令和7年度 逢初川流域復旧・復興事業にかかる地区別・町内会別説明会【主な意見】

【浜町内会・FG地区】

- ・家の周りの工事完了までまだまだ時間がかかる。・工事完了は早い方がいいが、安全に進めて欲しい。
- ・源頭部については、奥の方に不安がある。広範囲を注意深く見て欲しい。
- ・公衆トイレが少なく、観光客が困っている場面をよく見る為、公園へのトイレ設置を検討してほしい。
- ・駐車場も足りていないので、整備を検討して欲しい。・(仮称)伊豆山地区コミュニティ防災センターの使い方についてどのように考えているか。
- ・防災センターのライフラインについてはどのように管理されるのか。
- ・防災センターを、逢初川流域の防災計画について地域の皆で話し合い、考えて作る場としてはどうか。
- ・今回の災害は誰かの責任ではない。皆の責任だと思う。関心を示さず、私は知らないではなく、今後の地域の繋がりとして話し合いが必要。

【AB地区】

- ・道路事業完了後も事故がないように、信号や停止線等で安全性を確保してほしい。
- ・市道引地堀坂支線の工事着手が令和7年度になっている理由を教えてください。
- ・自宅からバス停へ最短で行くことができる道なので、新堀坂橋の復旧を待ち望んでいる。
- ・県外に住んでいるが、復旧工事が進んでいるのか、進捗状況が分かりづらい。
- ・公園事業について、仮設でもいいのでトイレを設置して欲しい。
- ・所有する土地の草刈りは所有者が行うのか。・コミュニティ防災センターの使い方について教えて欲しい。

【仲道町内会】

- ・コミュニティ防災センターの使い方について教えてください。・避難所となる伊豆山小学校のトイレを改修してほしい。・仲道公民館を市で買い取り、避難所として使えるように整備してほしい。・上流部の公園整備について、ドッグランにしたらどうか。
- ・公園について、最初はオープンスペース程度に整備し、地元の意見を聞きながら徐々に変えていくのはどうか。
- ・下流部ガード下の道路幅に変更はあるか教えてください。・用地買収の進捗状況について教えてください。
- ・様々な意見が言えて良かった。・引き続き、年に何回かは進捗状況を説明する場を設けてほしい。

令和7年度 逢初川流域復旧・復興事業にかかる地区別・町内会別説明会【主な意見】

【岸谷町内会】

- ・復旧と復興は別に考えてほしい。住民の生活に関わる道路や河川を整備することが最優先。・事業の進捗状況について教えてほしい。
- ・下流部河川工事中の交通について教えてほしい。・コミュニティ防災センターの用途について教えてほしい。
- ・墓地に訪問する際、コミュニティ防災センターの駐車場を利用できないか。・道路や河川が整備されれば、帰還者も増えるはず。
- ・市営住宅を建設したら、帰還者や移住者が増えるのではないか。・公園について、町内会員が減っているため、整備後の管理が難しい。・各公園に高齢者向けの健康器具を設置してほしい。

【CDE地区】

- ・ハード面の整備が完了したから安全という訳じゃない。災害はまた起こる可能性があるので地域の皆で考えていくことが必要。
- ・令和9年以降も復興が続いていくことを市も地域住民にも念頭に置いてほしい。
- ・コミュニティ防災センターの活用方法について。人口減少に少しでも歯止めをかける使い方（お金が入る仕組み等）を検討してほしい。
- ・公園事業について、以前開催したワークショップで決めた意見を反映させるべき。数人の意見で後から覆らないようにしてほしい。
- ・公園ワークショップの参加者は限定的だった。時間が経ち、自分たちが使うものとして認識できるようになった今こそ意見を聞くべき。・公園にトイレを設置する場合、市の予算で設置してもらえるのか。
- ・現在の工事で配置されている警備員がいなくなった後が不安。街路灯を増やす等、防犯対策をお願いしたい。
- ・岸谷町内に市営住宅を建設できないかももう一度検討してほしい。そういったことも含めて、帰還できていない世帯にアンケートをするべき。
- ・仮に令和8年度末に道路や河川工事が完了した場合、現地に宅地造成したい方はそれ以降になる。各種補助の延長についてはどうなるのか。
- ・説明会等の参加者が固定されている。オンラインを使うなど、20代や30代といった若い世代の意見をもっと吸い上げてほしい。

被災宅地復旧事業補助金制度について

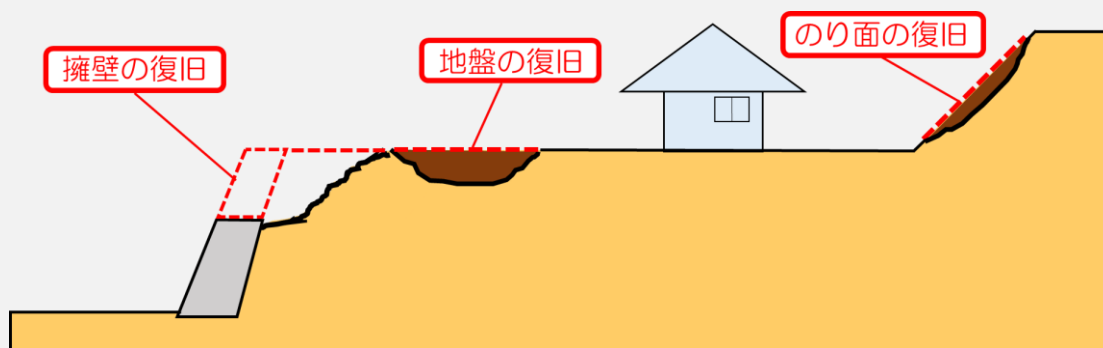
- 伊豆山土石流災害の被災宅地の復旧にあたり、被災者の生活環境の早期復旧及び、被災地区の安全性の回復を図る為、令和5年9月29日より「被災宅地復旧事業補助金制度」の運用を開始しています。
- **被災宅地復旧事業補助金の申請期限が2年延長され、令和8年9月28日まで**となりました。

目 的

令和3年7月熱海市伊豆山土石流災害における被災者の生活環境の早期復旧及び、被災地区の安全性の回復を図ることが目的です。

補助対象

令和3年7月熱海市伊豆山土石流災害によって被害を受けた宅地が対象です。被害を受けた宅地を被災前の状態に復旧するための工事で、「地盤の復旧工事」「のり面の復旧工事」「擁壁の復旧工事」のいずれかに該当する工事が対象です。



補助金額

補助対象工事に要した費用もしくは、補助対象工事に要する費用として市が算出した費用の、いずれか少ない金額の90%を補助します。なお、補助金の上限額は、1,000万円です。

申請の始め方

その1

復興調整室へお電話

TEL :
0557-86-6386

その2

ご相談後、現地確認等の実施

その3

現地確認後、詳しい進め方について、改めて市よりご説明

※令和7年5月26日より宅地造成及び特定盛土等規制法の運用が始まりました。許可対象となる盛土等の規模を確認していただき必要に応じて、手続きを行う必要があります。

発災後～2025年開催イベント ※一部抜粋

- 令和7年11月23日（日）、大蛇神輿（群馬県沼田市老神温泉）を行う新嘗祭が開催されました。
- 伊豆山の仲間に元気を与えたい・熱海全体が活気と祝福に満ちますように、という願いが込められています。

新嘗祭@伊豆山神社～熱海市役所（R7/11）



当日は、熱海駅から市役所まで大蛇神輿の巡行が行われ、伊豆山神社の境内ではミュージカル公演・フリーマーケットと盛りだくさんの内容で大変盛況でした。